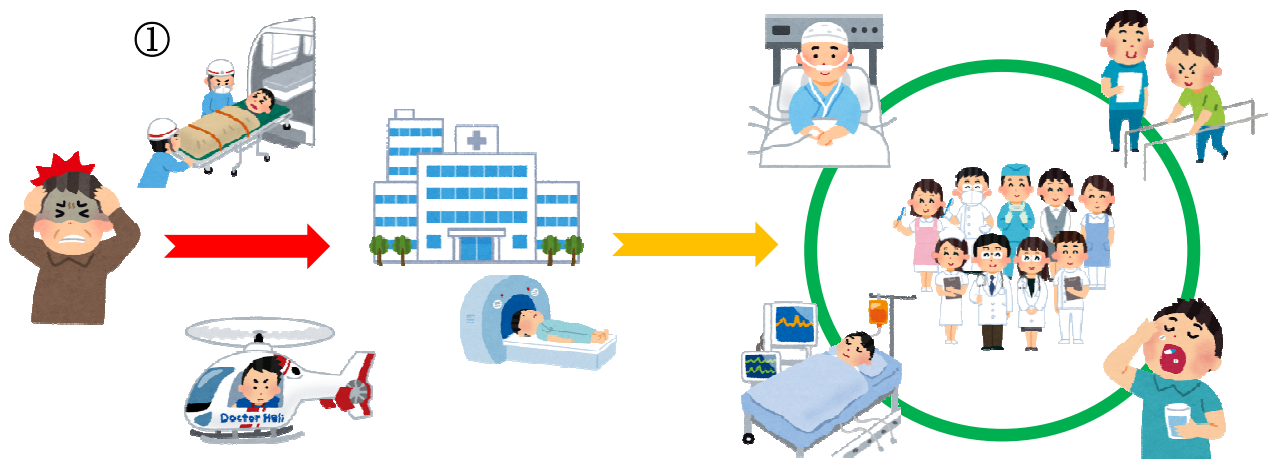


## 鹿児島県立大島病院における脳卒中の診療について（2016 年度版）

脳卒中（脳出血、くも膜下出血、脳梗塞）をひとたび発症した場合、リハビリテーションを行うことで元の生活に復帰できる方もいらっしゃいますが、後遺症が残ってしまったり、最悪の場合は死に至ることもあります。奄美地域においても、脳卒中を発症する方は多く、その対策が求められています。当院では、脳神経外科が脳卒中全般に対する外科的・内科的診療の中心となり、救急科はドクターヘリや救命救急センターでの救急医療、総合内科は脳梗塞の診療や糖尿病などの合併症の治療といったように、診療科それぞれの特性を活かして脳卒中に対する診療を行っています。そして、脳卒中は発症後の迅速な対応、合併症の管理、早期からのリハビリテーション、慢性期における生活習慣病の管理に再発予防など、様々な取組みが求められているため、当院での脳卒中、とくに脳梗塞の診療につきましては、主治医の診療科（脳神経外科、救急科、総合内科など）によらず、各診療科が緊密に連携を取りながら治療を行っています。また、医師に加えて看護師や理学療法士なども加わったカンファレンスを定期的に行うことで、今後の治療やリハビリテーション、そして退院に向けた取組みに関する情報共有を図りながら、よりよい治療になるように取り組んでいます。

### ～ 脳卒中の診療 ～



- ①脳卒中が疑われる場合、救急隊により患者さんの詳細な情報が救命救急センターに連絡されます
- ②2016年12月からは病院に配備されるドクターヘリで島外からの救急搬送も可能になります
- ③救命救急センターで診察・検査を行うことで脳卒中の診断を行い、初期治療も開始します
- ④脳卒中の程度に応じて、救命救急センターICUでの治療や外科的治療、内科的治療が行われます
- ⑤一般病棟（脳神経外科病棟）での治療や早期からのリハビリテーション、慢性期治療を行います